

## 理事長コメント

平成20年9月4日  
独立行政法人水資源機構  
理事長 青山俊樹

昨日（9月3日）、木曾川水系連絡導水路事業に関する事業実施計画の認可が官報に公示され、本日（9月4日）、事業が国土交通省から独立行政法人水資源機構に承継されました。

木曾川水系連絡導水路事業は、本年5月に本格的な運用を開始した徳山ダムで開発された愛知県の水道用水、名古屋市の水道用水及び工業用水と、異常渇水時に河川環境を改善するための水を導水するものです。

この事業は、都市用水の安定供給や木曾川水系の河川環境の改善を図るものであり、中部地域の発展を担う非常に重要な事業であると認識しております。

事業を進めるにあたっては、工事による環境への影響を十分調査検討し、これまで培った技術と経験を活かして、コストの縮減を図りながら計画的な事業の進捗に努めてまいります。